

Silk Central 13.0

インストール ヘルプ

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-06-21


目次

はじめに	4
システム要件と事前要件	4
インストール パッケージの内容	6
Silk Central のライセンス管理	7
ライセンスの扱い	7
Silk Central ライセンス ポリシーを生成する	7
ホスト ID を調べる	8
SilkMeter のインストール	8
以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする	8
ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする	8
SilkMeter ライセンス サーバーの構成	10
ライセンス サーバーの構成を変更する	10
Silk Central をインストールする	11
Silk Central をスタンドアロン環境にインストールする	11
分散環境に Silk Central をインストールする	13
Windows 実行サーバーをインストールする	17
Linux 実行サーバーをインストールする	18
Silk Central 13.0 にアップグレードする	18
Silk Central データベースを設定する	20
リレーショナル データベース管理システムを選択する	20
データベース	20
データベース ユーザーの権限	21
Silk Central データベースへ接続する	22
Silk Central データベースから切断する	22
既存のデータベースへ接続する	22
Silk Central 入門	23
Silk Central 入門	23
Issue Manager 入門	23
Silk Central を管理する	23

はじめに

Silk Central は、強力で総合的なソフトウェア テスト管理ツールです。Silk Central を使用してユーザーのテストプロセスの品質および生産性を高めることにより、アプリケーション障害のリスクを低減しつつ、良好なソフトウェア プロジェクトをより迅速に提供できます。本製品は、あらゆる重要なソフトウェア テスト フェーズを、スケーラブルな Web ベースの単一テスト システム上に統合しています。これにより、ローカルそして各地に分散したソフトウェア開発チームは、経験やリソース、そして重要な情報を共有することができます。

このヘルプでは、Silk Central をインストールおよびアンインストールするために必要なすべての情報を提供します。ハードウェアやソフトウェアの各要件、さまざまなセットアップ オプションの詳細が記載されています。また、データベース アクセスを構成して Silk Central の使用を開始できるようにするための支援も提供します。

 **注:** データベース管理システム (DBMS) にアクセスできない場合は、Microsoft SQL Server Express をインストールすることができます。評価目的のローカル テスト管理データベースとして、Microsoft SQL Server Express を使用できます。Microsoft SQL Server Express は、完全なデータベース サーバー インストールと比較して、機能が制限されているため、運用環境で使用することはできません。

システム要件と事前要件

サーバー システムの要件

アプリケーション、フロントエンド、実行、およびチャートの各サーバーは、特に記載がない場合、32 ビット オペレーティング システムの構成で検証されています。64 ビットの構成もサポートされますが、サービスが 32 ビット JVM に基づいているため、パフォーマンスは向上しません。

システム対象	要件
CPU	Intel Core i5、または同等の CPU
メモリ	最低 4 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
フロントエンド、アプリケーション、およびチャートの各サーバーのオペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2003 R2 サービス パック 2• Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット• Windows Server 2012
実行サーバーのオペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2003 R2 サービス パック 2• Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット• Windows Server 2012• Windows XP サービス パック 3• Windows XP 64 ビット サービス パック 1• Windows Vista Ultimate 32 ビット• Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1• Windows 8 32 ビット/64 ビット• Debian

システム対象	要件
	<ul style="list-style-type: none"> Redhat Enterprise Linux Suse Linux Ubuntu
Web サーバー	<ul style="list-style-type: none"> Tomcat IIS Apache、ロード バランサとして使用
データベース管理システム	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SQL Server 2005 サービス パック 3 Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 2 Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 1 Oracle 10g (バージョン 10.2.0.5) Oracle 11g (バージョン 11.2.0.3)
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)



注: Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*Silk Central 13.0* インストール ヘルプ』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象のアプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 1024 MB のメイン メモリが推奨されます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境（たとえば、VMware ESX Server）での実行がテストされています。最適なパフォーマンスのためには、物理ハードウェアを使用することをお勧めします。

クライアント側のシステム要件

システム対象	要件
プロセッサ	Intel Core i3、または同等の CPU
メモリ	1 GB
空きディスク容量	1 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> Google Chrome Internet Explorer 8、9、10 Mozilla Firefox

インストール パッケージの内容

このトピックでは、インストール CD および Web パッケージに含まれているプログラムに関する概要を提供します。 Silk Central を完全インストールするためには、それらのプログラムが必要となります。 ユーザーは、 **Setup** ウィザードを使用して、足りないプログラムをインストールすることができます。 コンポーネントを個別にインストールするには、以下で指定された場所から EXE ファイルを実行します。

プログラム ロケーション

Silk Meter SilkMeter を、次のフォルダからインストールします。

¥SilkMeter¥silkmeter.exe




注: SilkMeter は、インストール CD からのみインストールできます。 Web パッケージには含まれていません。

¥SilkMeter フォルダには、お使いのコンピュータに関する情報を取得するのを支援するプログラムも含まれています。 この情報は、 Micro Focus ライセンスを取得するためにお客様が SilkMeter にお問い合わせいただく際に必要となります

Silk Central のライセンス管理

このセクションでは、Silk Central のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。

 **注:** Silk Central には、SilkMeter バージョン 2008 以降と Silk Central ライセンス ポリシーが必要です。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

Silk Central ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

ライセンスの扱い

Silk Central には、3 タイプのライセンスが用意されています。これらのライセンスは、ユーザーが Silk Central の特定の領域から入るとすぐにチェックアウトされます。

ライセンス タイプ	領域
テスト管理	このライセンスは、ログイン後に初めてテスト管理領域にアクセスしたときにチェックアウトされます。Silk Central テスト管理領域とは： 要件、テスト、実行計画、追跡、問題 (Issue Manager 領域を除く)、および レポート です。
手動テスト	このライセンスは、 手動テスト ウィンドウを開いたときにチェックアウトされます。
問題追跡	このライセンスは、Issue Manager にアクセスしたときにチェックアウトされます。

次の点に注意します。

- **ログアウト (ユーザー > ログアウト)** をクリックすると、ライセンスはライセンス サーバーに再度チェックインされます。
- ログアウトしない (およびブラウザ ウィンドウを閉じただけの) 場合、ライセンスはセッションが期限切れになったときのみチェックインされます。

バージョン情報 ページ (ヘルプ > バージョン情報) には、現在使用中のライセンス数と、利用可能ライセンス数が表示されます。

Silk Central ライセンス ポリシーを生成する

Silk Central を実行するには、ライセンス ポリシーが必要となります。ユーザーは、Online License Generator を使用して、ライセンス ポリシーを生成することができます。Online License Generator には、Firefox や Internet Explorer など、SSL 対応ブラウザが必要となります。ライセンス ポリシーの生成手順を電子メールで受信します。手順を受信しなかった場合は、<http://support.microfocus.com> より Customer Care にお問い合わせください。

ホスト ID を調べる

1. ライセンス サーバー上でコマンド プロンプトを開き、コマンド ipconfig/all を入力します。ライセンス サーバーが、接続アドレスを一覧表示します。
2. ホスト ID (お使いの LAN カードの MAC アドレス もしくは 物理アドレス) を確認してください (例 : 00-BF-00-1C-D3-3D)。

Silk Central のためのライセンス ポリシーを取得するには、この情報を入力する必要があります。



ヒント: システムの設定によっては (仮想マシンや VPN 接続を含む)、複数の MAC アドレスをお持ちの場合もあります。実際の LAN カードのホスト ID であることを確認してください。

SilkMeter のインストール

Silk Central ライセンス ポリシーをお持ちの場合には、SilkMeter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。Silk Central ライセンス ポリシーを取得するには、Online License Generator にアクセスして、ライセンス ポリシーを生成します。

Silk Central ライセンス ポリシーは、SilkMeter をライセンス サーバー上へインストールする時点で、必須というわけではありません。SilkMeter の **User Policy Administrator** を使用して、Silk Central ライセンス ポリシーを後からインポートすることも可能です。ただし、ライセンス ポリシーは Silk Central を実行する前にインポートする必要があります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

SilkMeter ライセンス サーバーの要件

SilkMeter をインストールする前に、*Release Notes* を参照して、お使いのライセンス サーバーが要件を満たしているか確認してください。

以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする

SilkMeter が既にライセンス サーバー上にインストールされている場合には、最新バージョンの SilkMeter をインストールする前に、それをアンインストールしなければなりません。

1. **スタート > プログラム > Silk > SilkMeter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして、SilkMeter をアンインストールします。 **Remove Settings** ダイアログ ボックスが開きます。
3. **No** をクリックした場合には、SilkMeter の設定が保持されます。



注目: 現在、SilkMeter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

SilkMeter はアンインストールされ、これで、最新バージョンの SilkMeter をインストールする準備ができました。

ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする

SilkMeter をインストールする前に、次の情報を確認します。

- ユーザー アカウントに管理者権限があること。
- SilkMeter のインスタンスが、ライセンス サーバー上にインストールされていないこと。

1. SilkMeter 実行可能ファイル SilkMeter.exe を探し、次のようにして順次ステップを実行していきます。

- Silk Central の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、 **スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、 <CD ドライブ>:¥SilkMeter ¥SilkMeter.exe を入力して、SilkMeter セットアップ プログラムを手動で開始します。
- ダウンロードした SilkMeter をお持ちの場合、次のステップを実行します。

1. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。

2. その EXE ファイルをダブルクリックします。

- SilkMeter をダウンロードする場合、次のステップを実行します。

1. <http://supportline.microfocus.com/licensing/silkmeter.asp> にアクセスしてください。

2. **SilkMeter 2008** をクリックしてから、**Save File** をクリックします。

3. このファイルを保存する場所を指定して、**保存** をクリックします。

代替方法：ブラウザから EXE ファイルをダブルクリックして、ファイルを実行します。

4. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。

5. その EXE ファイルをダブルクリックします。

Silk Performer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **Next** をクリックし、続行します。 セットアップによって、ファイルが一時ディレクトリに展開されます。

3. **Next** をクリックし、続行します。 **使用許諾契約** ページが開きます。

4. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。 これらの条項に同意する場合は、**Yes** をクリックして、続行します。 **Enter Installation Path and Configuration Directory for SilkMeter Runtime** ページが開きます。

5. **Next** をクリックして、SilkMeter をデフォルト ディレクトリにインストールし、デフォルト設定フォルダ ¥cfg を使用します。 **Enter Host Name** ページが開きます。

6. ホスト名およびポートを入力または確認して、**Next** をクリックします。



注: ここでのホスト名は、SilkMeter がインストールされるコンピュータの名前です。

Select Program Folder ページが開きます。

7. **Program Folders** テキスト ボックスで、デフォルト プログラム フォルダである SilkSilkMeter をそのまま利用するか、別のプログラム フォルダを指定し、**Next** をクリックして続行します。 SilkMeter がインストールされます。 完了すると、**Install SilkMeter Policy** ページが開きます。

8. 次のいずれか 1 つのステップを行います：

- Silk Central のライセンス ポリシーが既にある場合、**参照 (...)** をクリックして、Silk Central ライセンス ポリシー ファイル license.pol を保存した場所まで移動し、**Open** をクリックします。 **Finish** をクリックして、Silk Central ライセンス ポリシーをインストールします。

- Silk Central ライセンス ポリシーをまだ持っていない場合は、**Finish** をクリックします。 Silk Central ライセンス ポリシーは、後で受け取った際にインポートすることができます。 Silk Central ライセンス ファイルをインポートするための手順については、Online License Generator や SilkMeter Runtime Help のヘルプから確認することができます。

View Release Notes ページが開きます。

9. **Yes** をクリックして SilkMeter リリース ノートを表示させるか、**No** をクリックしてリリース ノートを表示させずにインストールを続行させます。 **InstallShield Wizard Complete** ページが開きます。

10 **Finish** をクリックしてインストールを完了させます。



重要: セットアップによってコンピュータを再起動することを要求された場合は、コンピュータを再起動します。

SilkMeter ライセンス サーバーの構成

Silk Central のいずれのバージョンを実行する場合にも、SilkMeter をネットワーク内にあるコンピュータ上にインストールし、構成しなければなりません。

Silk Central と SilkMeter の間の通信プロセスは、次のファイルおよび変数によって設定されています。

- `SILK_CONFIG_PATH` 環境変数
- `CosLicensingService.ref` ファイル
- `CosPropertyService.ref` ファイル
- `ls_segue.ref` ファイル
- `silkmeter.cfg` ファイル



重要: これらのファイルは削除しないでください。

Silk Central セットアップ プログラムが、**Select SilkMeter License Server** ユーティリティのテキストボックスに入力された値を基に、これらのオブジェクトを作成します。

ライセンス サーバーの構成を変更する

Select SilkMeter License Server ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの構成を変更または修復します。このユーティリティは、Silk Central のインストール時に一緒にインストールされ、ローカル システム内に SilkMeter ライセンス サーバーの構成ファイルがあるかどうかを確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合には、**Select SilkMeter License Server** ダイアログ ボックスにデフォルトの設定が表示されます。

1. **スタート > プログラム > Silk > Silk Central 13.0 > 管理ツール > ライセンス サーバー構成の変更** を選択します。 **Select SilkMeter License Server** ユーティリティが開きます。
2. **Application (アプリケーション)** リスト ボックスで、ライセンス サーバーを設定したい製品を選択します。
3. **Using local or remote server (ローカルまたはリモート サーバーを使用する)** オプション ボタンをクリックして、SilkMeter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host (ライセンス サーバー ホスト)** テキスト ボックスに、SilkMeter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。
ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでない限り、**Port Number (ポート番号)** は変更しないでください。
5. **Apply (適用)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を生成します。
6. **Test Connection (接続のテスト)** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。接続が成功した場合には、**Status (ステータス)** テキスト ボックスに SUCCESS メッセージが表示されます。



注: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を `licenseserver` など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、`licenseserver.mycompany.com` など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

7. **Close (閉じる)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を完了させます。


Silk Central をインストールする

このセクションでは、Silk Central をインストールする際に指定することのできるセットアップ オプションについて説明します。

セットアップ内容は、作成したいアプリケーション環境や利用することのできるリソースによって変わってきます。

Silk Central のインストール CD やセットアップ プログラムでは、すべての Silk Central ソフトウェア コンポーネントを、単一のコンピュータ上にインストールしたり、各コンポーネントをそれぞれ別のコンピュータ上にインストールしたりすることができます。

Silk Central をインストールするには、お使いのコンピュータ システムが最小要件を満たしている必要があります。インストール プログラムは、システムを検査して、必要なソフトウェアをオプションでインストールします。


 **注:** Silk Central をインストールするには、そのコンピュータ上で管理者権限を持っている必要があります。

Silk Central をスタンドアロン環境にインストールする

作業を開始する前に、Silk Central の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Central の CD を CD ドライブに挿入します。

標準インストール オプションを使用して、スタンドアロン インストールのセットアップを行います。この場合、すべての機能が単一のマシン上にインストールされます。

 **注:** スタンドアロン インストールでは、Silk Central の完全なパフォーマンスは実現されません。このインストール タイプは、デモンストレーション用途のみに使用してください。

 **注:** Microsoft Windows Server 2008 R2、Windows Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1、または Microsoft Windows Server 2012 での Silk Central のインストール中は、.NET Framework 3.5 SP1 のセットアップを実行できません。システムに .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていないうえ、オペレーティング システムが Microsoft Windows Server 2008 R2、Windows Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1、または Microsoft Windows Server 2012 であり、Silk Central の評価版をインストールする場合、Silk Central をインストールする前に、Windows Server Manager を使用して .NET Framework 3.5 SP1 をシステムにインストールします。

1. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Central の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。Silk Central セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、<cddrive>: ¥silkcentral130.exe を入力して、セットアップ プログラムを手動で開始します。

Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 と Windows インストーラ 4.5 がコンピュータにインストールされていない場合、Windows インストーラ 4.5 を今すぐインストールするかどうかを尋ねるダイアログ ボックスが表示されます。評価目的で Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 をインストールする場合は、**はい** をクリックして Windows インストーラ 4.5 のインストールを確認します。

Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 をインストールするには、コンピュータを再起動する必要があります。再起動してよいか確認を求めるダイアログ ボックスで、**はい、コンピュータを今すぐ再起動します**。を選択し、**OK** をクリックします。再起動後に Silk Central のセットアップが続行されます。

InstallShield ウィザードが開きます。

2. インストール完了時に、インストール ファイルを削除するかどうかを選択し、**Next** をクリックします。

セットアップをあとからまた実行する予定がない場合には、ファイルを、インストール完了後に自動的に削除される一時保管場所に展開することも可能です。

インストールに必要なファイルを、Silk Central が抽出、準備、およびインストールします。

3. 確認メッセージが開いた場合には、**はい** をクリックして、現在の場所からアプリケーションを実行していかどうかを承認します。自動的にウィザードがインストール パッケージからファイルを展開し、インストールの準備を行います。ウィザードの Welcome ページが開いたら、ウィザードの指示に従ってセットアップ手順を進めます。**Next** をクリックし、続行します。
4. 使用する言語を選択し、**Next** をクリックします。**License Agreement** が開きます。
5. 使用権の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**I accept the terms of the license agreement** をクリックします。**Setup Type** ページが開きます。
6. **Silk Central 13.0 Standard Installation** オプション ボタンをクリックして、スタンドアロン Silk Central 環境をインストールします。
デフォルトのインストール先は **Setup Type** ページの **Destination path** セクションに表示されます。デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。
 - a) **Browse** をクリックします。**Choose Folder** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b) Silk Central をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **Setup Type** ページに戻ります。



注: Silk Central は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。無効なインストール先を指定した場合には、エラー メッセージが表示されます。

7. **Next** をクリックし、続行します。**Installation Options Summary** ページに、選択した設定内容が一覧表示されます。
8. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。
 - 設定を変更するには、**Back** をクリックして、該当するページに戻ります。
 - 必要な設定をし終わったら、**Next** をクリックして、インストール処理を開始します。

Setup Status ページの進捗バーにより、インストール処理の状況がわかります。完了すると、**Select licensing mode** ページが開きます。

9. 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。
 - **Evaluation** - Silk Central の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は、10 Silk Central ユーザーと 10 Issue Manager ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。**Install Microsoft SQL Server 2008 Express SP1** (Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 のインストール) チェックボックスをオンにすると、Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 が追加インストールされます。
 - **Licensed** - ライセンスが必要な Silk Central の無制限版をインストールします。

10 **Next** をクリックします。

インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて Silk Central 13.0 Licensing ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページも開かない場合には、次のステップに進んでください。

ライセンス ファイルをインストールするには、次のステップを実行します：

- a) **OK** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

このライセンス ユーティリティは、ローカル システム内に、SilkMeter ライセンス サーバーの設定ファイルがあるかどうか確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合は、**Select SilkMeter License Server** ページがデフォルトの設定と共に表示されます。

このページでは、SilkMeter ライセンス管理についての一般的な情報を提供しています。SilkMeter ライセンス管理の詳細については、**Open SilkMeter ReadMe** をクリックします。これにより、デフォルトブラウザで SilkMeter ドキュメントが開きます。



注: ドキュメントがインストール ソース ディレクトリで利用できない場合は、**Open SilkMeter ReadMe** ボタンは利用できなくなっています。このドキュメントは、一般に、Silk Central Web パッケージをインストールしている場合は利用できなくなっています。

- b) **Application** リスト ボックスで、ライセンス管理を行うアプリケーションとして、**Silk Central** を選択します。
- c) 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。

Using local or remote server

License Server Host テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を生成します。**Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。



注: 場合により、**License Server Host** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前で指定すると、動作しない場合があります。there is no license server running on the hostname you specified (指定されたホスト名上にはライセンスサーバーが実行されていません) というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

Not using server (standalone)

SilkMeter をスタンドアロンで実行します。SilkMeter のライセンス ファイルをインポートするようプロンプトが表示されます。**Yes** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

- d) **Close** をクリックして、InstallShield ウィザードに戻ります。

11 Finish をクリックしてインストールを完了させます。



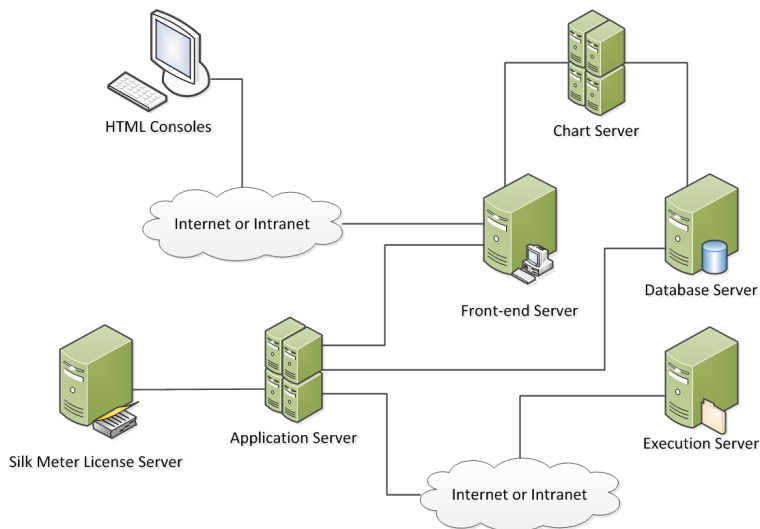
注: InstallShield ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で InstallShield ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Central へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

分散環境に Silk Central をインストールする

作業を開始する前に、Silk Central の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Central の CD を CD ドライブに挿入します。

カスタム インストール セットアップを使用すると、Silk Central のインストールを自在に制御できます。分散環境をセットアップする予定の場合には、このオプションを使用してください (以下の図参照)。

Silk Central Architecture



1. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Central の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。Silk Central セットアッププログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、<cddrive>: ¥silkcentral130.exe を入力して、セットアッププログラムを手動で開始します。

Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 と Windows インストーラ 4.5 がコンピュータにインストールされていない場合、Windows インストーラ 4.5 を今すぐインストールするかどうかを尋ねるダイアログ ボックスが表示されます。評価目的で Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 をインストールする場合は、**はい** をクリックして Windows インストーラ 4.5 のインストールを確認します。

Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 をインストールするには、コンピュータを再起動する必要があります。再起動してよいか確認を求めるダイアログ ボックスで、**はい、コンピュータを今すぐ再起動します。** を選択し、**OK** をクリックします。再起動後に Silk Central のセットアップが続行されます。

InstallShield ウィザードが開きます。

2. インストール完了時に、インストール ファイルを削除するかどうかを選択し、**Next** をクリックします。

セットアップをあとからまた実行する予定がない場合には、ファイルを、インストール完了後に自動的に削除される一時保管場所に展開することも可能です。

インストールに必要なファイルを、Silk Central が抽出、準備、およびインストールします。

3. 確認メッセージが開いた場合には、**はい** をクリックして、現在の場所からアプリケーションを実行していいかどうかを承認します。自動的にウィザードがインストール パッケージからファイルを展開し、インストールの準備を行います。ウィザードの Welcome ページが開いたら、ウィザードの指示に従ってセットアップ手順を進めます。**Next** をクリックし、続行します。

4. 使用する言語を選択し、**Next** をクリックします。**License Agreement** が開きます。


5. 使用権の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**I accept the terms of the license agreement** をクリックします。**Setup Type** ページが開きます。

6. **Silk Central13.0 Custom Installation** オプション ボタンをクリックして、分散 Silk Central 環境をインストールします。


デフォルトのインストール先は **Setup Type** ページの **Destination path** セクションに表示されます。デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

a) **Browse** をクリックします。**Choose Folder** ダイアログ ボックスが開きます。

b) Silk Central をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **Setup Type** ページに戻ります。

 **注:** Silk Central は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。無効なインストール先を指定した場合には、エラー メッセージが表示されます。


7. **Next** をクリックします。 **Select Features** ページに、デフォルトの設定が一覧されます。カスタムインストール セットアップでは、デフォルトにより Silk Central パッケージに入っているすべてのコンポーネントがインストールされます。
8. 分散環境をセットアップするには、現在のコンピュータ上にインストールするコンポーネントのチェックボックスにチェックを付けていきます。

 **注:** Silk Central は、次のコンポーネントがすべて正しくインストールされている場合のみ、適切に機能します。


- Silk Central アプリケーション サーバーをインストールするには、 **Silk Central Application Server** チェック ボックスにチェックを付けます。
- Silk Central Web Server をインストールするには、 **Silk Central Web Server** チェック ボックスにチェックを付けます。

Microsoft Internet Information Services (IIS) バージョン 5.0 以降がシステム上にインストールされている場合、 **Use Microsoft Internet Information Services** を選択できます。Internet Server Application Program Interface (ISAPI) フィルタをインストールすると、URL 解析を実行できます。IIS 7 を Silk Central Web サーバーとして使用するには、次の機能を IIS 7 の標準インストールでインストールする必要があります。


- CGI
- ISAPI Extensions
- ISAPI Filters

 **ヒント:** フロントエンド サーバーは、アプリケーション サーバーと同じ LAN 内に配置されていなければなりません。さもないと、内部ネットワーク トラフィックによって Silk Central のパフォーマンスが著しく低下します。

- Silk Central チャート サーバーをインストールするには、 **Silk Central Chart Server** チェック ボックスにチェックを付けます。

 **ヒント:** チャート サーバーは、レポート出力のリクエストを処理する際に大量のメモリを消費するため、個別のコンピュータ上にインストールしてください。

- Silk Central 実行サーバーをインストールするには、 **Silk Central Execution Server** チェック ボックスにチェックを付けます。
- Issue Manager をインストールするには、 **Silk Central Issue Management** チェック ボックスにチェックを付けます。

 **注:** Issue Manager Web ユーザー インターフェイスは、Silk Central Web サーバーをインストールしたコンピュータ上にインストールする必要があります。

9. **Next** をクリックし、続行します。 **Installation Options Summary** ページに、選択した設定内容が一覧表示されます。

10 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、 **Back** をクリックして、該当するページに戻ります。
- 必要な設定をし終わったら、 **Next** をクリックして、インストール処理を開始します。

Setup Status ページの進捗バーにより、インストール処理の状況がわかります。完了すると、 **Select licensing mode** ページが開きます。

11 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。

- **Evaluation** - Silk Central の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は、10 Silk Central ユーザーと 10 Issue Manager ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。 **Install Microsoft SQL Server 2008 Express SP1** (Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 のインストール) チェック ボックスをオンにすると、Microsoft SQL Server 2008 Express SP1 が追加インストールされます。

- **Licensed** - ライセンスが必要な Silk Central の無制限版をインストールします。

12Next をクリックします。


インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて Silk Central 13.0 Licensing ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページも開かない場合には、次のステップに進んでください。

ライセンス ファイルをインストールするには、次のステップを実行します：

a) **OK** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

このライセンス ユーティリティは、ローカル システム内に、SilkMeter ライセンス サーバーの設定ファイルがあるかどうか確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合は、**Select SilkMeter License Server** ページがデフォルトの設定と共に表示されます。

このページでは、SilkMeter ライセンス管理についての一般的な情報を提供しています。SilkMeter ライセンス管理の詳細については、**Open SilkMeter ReadMe** をクリックします。これにより、デフォルトブラウザで SilkMeter ドキュメントが開きます。


 **注:** ドキュメントがインストール ソース ディレクトリで利用できない場合は、**Open SilkMeter ReadMe** ボタンは利用できなくなっています。このドキュメントは、一般に、Silk Central Web パッケージをインストールしている場合は利用できなくなっています。

b) **Application** リスト ボックスで、ライセンス管理を行うアプリケーションとして、**Silk Central** を選択します。

c) 次のオプション ボタンのいずれか 1 つをクリックします。

Using local or remote server

License Server Host テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を生成します。**Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。


 **注:** 場合により、**License Server Host** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。there is no license server running on the hostname you specified (指定されたホスト名上にはライセンスサーバーが実行されていません) というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

Not using server (standalone)

SilkMeter をスタンドアロンで実行します。SilkMeter のライセンス ファイルをインポートするようプロンプトが表示されます。**Yes** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

d) **Close** をクリックして、InstallShield ウィザードに戻ります。

13Finish をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** InstallShield ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で InstallShield ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Central へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

14前述のステップを、分散環境に加えたい他のコンピュータに対して繰り返します。

Windows 実行サーバーをインストールする

作業を開始する前に、Silk Central の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Central の CD を CD ドライブに挿入します。

リモート Silk Central 実行サーバーとして使用する POP (Point of Presence) それぞれに実行サーバーをインストールします。実行サーバーは、Silk Central テストをリモート コンピュータ上で実行します。



注: Silk Central Windows 実行サーバーのインストーラは、ダウンロードすることができます。ヘルプ > ツール を選択します。

1. Silk Central の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Central の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。Silk Central セットアッププログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、<cddrive>:

¥silkcentral130.exe を入力して、セットアッププログラムを手動で開始します。

InstallShield ウィザードが開きます。

2. インストール完了時に、インストール ファイルを削除するかどうかを選択し、**Next** をクリックします。

セットアップをあとからまた実行する予定がない場合には、ファイルを、インストール完了後に自動的に削除される一時保管場所に展開することも可能です。

インストールに必要なファイルを、Silk Central が抽出、準備、およびインストールします。

3. 確認メッセージが開いた場合には、**はい** をクリックして、現在の場所からアプリケーションを実行していいかどうかを承認します。自動的にウィザードがインストール パッケージからファイルを展開し、インストールの準備を行います。ウィザードの Welcome ページが開いたら、ウィザードの指示に従ってセットアップ手順を進めます。**Next** をクリックし、続行します。

4. 使用する言語を選択し、**Next** をクリックします。 **License Agreement** が開きます。

5. 使用権の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**I accept the terms of the license agreement** をクリックします。 **Setup Type** ページが開きます。

6. **Silk Central 13.0 Execution Server Installation** オプション ボタンをクリックして、実行サーバーをインストールします。

デフォルトのインストール先は **Setup Type** ページの **Destination path** セクションに表示されます。デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。

a) **Browse** をクリックします。 **Choose Folder** ダイアログ ボックスが開きます。

b) Silk Central をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **Setup Type** ページに戻ります。



注: Silk Central は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。無効なインストール先を指定した場合には、エラー メッセージが表示されます。

7. **Next** をクリックし、続行します。 **Installation Options Summary** ページに、選択した設定内容が一覧表示されます。

8. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。

- 設定を変更するには、**Back** をクリックして、該当するページに戻ります。
- 必要な設定をし終わったら、**Next** をクリックして、インストール処理を開始します。

Setup Status ページの進捗バーにより、インストール処理の状況がわかります。完了すると、**InstallShield Wizard Complete** ページが開きます。

9. **Finish** をクリックしてインストールを完了させます。



注: InstallShield ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で InstallShield ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するよう


にプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Central へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

Linux 実行サーバーをインストールする

このタスクは、Linux を使用する Silk Central ユーザー用です。

リモート Silk Central 実行サーバーとして使用する POP (Point of Presence) それぞれに実行サーバーをインストールします。実行サーバーは、Silk Central テストをリモート コンピュータ上で実行します。

1. メニューで、**ヘルプ** > **ツール** > **Linux 実行サーバー** をクリックして、Linux 実行サーバー パッケージをダウンロードします。

 **注:** Linux 実行サーバー パッケージには、JRE は含まれていません。JRE バージョン 7 がインストールされていることを確認します。最新の JRE は、<http://java.sun.com/javase/downloads> からダウンロードできます。

2. 次のコマンドを使用して、パッケージ ファイル tar.gz を展開します。

```
tar xzf <PackageFileName>.tar.gz
```


ここでパッケージ ファイル名は、ビルドまたはバージョン番号が追加された LinuxExecServer です。


3. 次のコマンドを使用して、パッケージ ファイルを展開したディレクトリに移動します。

```
cd LinuxExecServer
```

4. 次のコマンドを使用して、実行サーバーを開始します。

```
./startExecServer.sh
```

 **注:** キャッシュ情報とログ ファイルは、お使いのホーム ディレクトリの隠しフォルダ `~/.LinuxExecServer` に保存されています。ExecServer.log ログ ファイルは、Silk Central の Web インターフェイスからもアクセスできます。

 **注目:** 現在、Linux 実行サーバーに対してサポートされているソース管理システムは、Subversion および Apache Commons Virtual File System (VFS) です。

以下の技術で作成されたテストでは、Linux 実行サーバーでの実行はサポートされません。

- すべての Silk Test 技術
- Silk Performer
- .NET Explorer
- TestPartner
- NUnit

これらのテスト タイプは、Microsoft Windows オペレーティング システムのプラットフォーム特有のもので、

Silk Central 13.0 にアップグレードする

Silk Central の前のバージョンからアップグレードする場合、Silk Central 13.0 をインストールする前に、既存のプログラムを削除する必要があります。

1. 新しいバージョンへアップグレードを始める前に、Silk Central リポジトリまたはデータベースのバックアップ コピーを作成してください。
2. 現在インストールされているプログラムの /conf ディレクトリにある、XML ベースの設定ファイルのいずれかに変更を加えている場合、または、このディレクトリへ新しいファイルを追加している場合は、作業を続行する前に、この /conf ディレクトリのバックアップ コピーも作成してください。
3. Silk Central のフロントエンド サーバー、アプリケーション サーバー、およびチャート サーバーの、現在のプログラムを削除します。

前で挙げたコンポーネント群と同じコンピュータ上に、実行サーバーもインストールされている場合には、その実行サーバーのプログラムも同様に削除します。

4. データベース サーバーとして Microsoft SQL Server を使用している場合は、「スナップショット」のアイソレーション レベルを有効にする必要があります。

スナップショット アイソレーションは、リーダ/ライタ ブロッキング シナリオを回避するのに使用されます。

- a) データベース サーバーへ接続します。



注: 設定を有効にするためには、データベース サーバー上での管理者権限をもっていなければなりません。

- b) 次のコマンドを実行します : `ALTER DATABASE <your databasename> SET ALLOW_SNAPSHOT_ISOLATION ON.`

5. Silk Central のフロントエンド サーバー、アプリケーション サーバー、およびチャート サーバーをインストールします。

前で挙げたコンポーネント群と同じコンピュータ上に、実行サーバーもインストールしたい場合には、他のコンポーネントと一緒に実行サーバーもインストールします。

6. ブラウザのタイトルバーにホスト名を表示させる、といった詳細設定については、テキスト エディタもしくは XML エディタ上で、新しい設定ファイルを編集します。

XML ファイルを編集する前に、必ずフロントエンド サーバーのサービスが停止されていることをご確認ください。

データベースの設定は自動的に更新されます。設定ファイルにおける詳細設定の詳細については、この『ヘルプ』の「管理」トピックを参照してください。



注: 大きなデータベースの場合、データベース トランザクション ログのサイズが小さいと、アップグレード時にエラーが発生する可能性があります。エラーを回避するには、データベース トランザクション ログのサイズを 5 GB に設定します。

7. 設定ファイルを編集したら、フロントエンド サーバーを再起動してください。

サービスの開始および停止の詳細については、この『ヘルプ』の「管理」トピックを参照してください。

8. データベースに接続し、Web フロントエンド サーバーの適切な接続データを入力します。



注: 既存のデータベースは、接続した際に現行バージョンへと自動的に更新されます。この処理には、データベースのサイズによっては、数分から数時間までかかる場合があります。データベースを作成したユーザーのログオン認証を使用して、データベースに接続します。

9. 2009 SP1 より前の Silk Central バージョンからアップグレードする場合は、以下の手順に従って個々の実行サーバーを手動でアップグレードする必要があります。

- a) 現在インストールされている Silk Central の実行サーバーを削除します。

- b) Silk Central 13.0 の実行サーバーをインストールします。

- c) 前のステップを、各実行サーバーをインストールするたびに繰り返します。

Silk Central データベースを設定する

このセクションでは、Silk Central によってサポートされているデータベース システムの概要を提供すると共に、Silk Central データベースを作成し、接続する方法についても説明します。

リポジトリは、Silk Central システム管理者のみが設定できます。ユーザー ロールに関するさらなる情報については、この『ヘルプ』の「管理」トピックを参照してください。

リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) をインストール、設定し、Silk Central をインストールしたら、1 つまたは複数のリポジトリを作成したり、既存のリポジトリに接続することができます。リポジトリでの作業に関するさらなる情報については、「システム管理」を参照してください。

リレーショナルデータベース管理システムを選択する

Oracle または Microsoft SQL Server を、各リレーショナル データベース管理システム (RDBMS) のドキュメントの指示に従い、インストールして設定します。

Silk Central は次のデータベース管理システムをサポートします。

- Microsoft SQL Server 2005 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 1
- Oracle 10g (バージョン 10.2.0.5)
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.3)



注:

Microsoft SQL Server Silk Central では、Microsoft SQL Server サーバーのみサポートされており、大文字/小文字関係なくセットアップされます。

Microsoft SQL Server Express Microsoft SQL Server Express は、完全なデータベース サーバー インストールと比較して、機能が制限されているため、運用環境で使用することはできません。

Oracle Silk Central では、Oracle 10g バージョン 10.1.0.2 を使用しないでください。

データベース

Silk Central リポジトリを作成したり、このリポジトリにアクセスする場合は、どのタイプのデータベース システムを使用するかを指定します。



注: Oracle はデータベースを作成するのではなく、特定のユーザー名に割り当てられるスキーマを作成します。このため、データベース名は、Oracle のリポジトリに割り当てられるのではなく、代わりにユーザー名に割り当てられます。Silk Central は、このようなユーザー名を は、このようなユーザー名を データベース名 として参照します。

以下の表では、各データベース タイプに対する要件が記載されています。

RDBMS	用意するもの
Oracle	<ul style="list-style-type: none">• Oracle 表領域。• サーバーのホスト名とポート番号。デフォルトのポート番号は 1521 です。

RDBMS	用意するもの
Microsoft SQL Server	<ul style="list-style-type: none"> Oracle のインスタンス名 (\$ORACLE_SID)。お使いの Oracle インスタンスの名前については、Oracle の管理者にお問い合わせください。 Silk Central データベース ユーザーの名前とパスワード。ここでのユーザーは、十分な割り当て領域と権限を持っている必要があります。これについて手助けが必要な場合には、必要に応じて Oracle の管理者にお問い合わせください。 サーバーのホスト名とポート番号。 MS SQL Server のシステムユーザー名とパスワード。 Silk Central リポジトリの名前。 Silk Central データベース ユーザーの名前とパスワード。

データベース ユーザーの権限

セキュリティ リスク上、Silk Central リポジトリの維持管理にデータベースの管理者ユーザーを利用することは、推奨していません。このトピックでは、次のように、特定のタスクで使用することのできるデータベース ロールについて一覧表示します：

Microsoft SQL Server Microsoft SQL Server を Silk Central の DBMS とする場合、Silk Central リポジトリに対して次のデータベース ユーザー権限を設定します。

- db_owner
- db_ddladmin

これら 2 つのロールのいずれも、リポジトリの表の作成や設定、事前に作成されてあるデータベースでの作業、ソフトウェアのインストールや更新などが許可されています。



注: Silk Central データベース ユーザーには、この両権限が必要となります。さもなければ、エラーが発生します。

Oracle Oracle を Silk Central の DBMS とする場合、Silk Central で作業するために、次の Oracle データベース ユーザー権限を設定します。

- CREATE SESSION
- CREATE PROCEDURE
- CREATE SEQUENCE
- CREATE TABLE
- CREATE TRIGGER
- CREATE VIEW



注: Silk Central データベース ユーザーには、前出のすべての権限が必要となります。さもなければ、エラーが発生します。



注: ここでの Oracle ユーザーは、Silk Central で作業するために、十分な割り当て領域を持っている必要があります。

Silk Central に対して Oracle DBMS を設定している場合には、Oracle の環境が次の要件を満たしているかどうか確認してください：

- 最低 2GB の一時表領域が利用可能であること。
- 一時表領域のサイズを処理するために十分なディスク領域があること。

Silk Central データベースへ接続する

Silk Central は、Silk Test Classic や Silk Performer と密に統合された、スケジュール管理や障害追跡機能を提供する、総合テスト管理ソリューションです。

Web ブラウザ、または Windows メニューから、Silk Central にアクセスすることができます。両方の方法とも、フロントエンド サーバーおよびアプリケーション サーバーのホストとなっているコンピュータ上でのみ利用可能です。Web ブラウザから Silk Central へアクセスするには、デフォルト URL `http://<コンピュータ名>/login` を使用します。Windows メニューから Silk Central にアクセスするには、**スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Central > Silk Central 13.0 > Silk Central Home Page** を選択します。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。

また、Silk Central コンポーネントを、Silk Test Classic 上の組み込みブラウザ ウィンドウ内に起動することもできます。

Silk Central や Issue Manager を起動するには、Silk Central データベースに接続する必要があります。

「データベース」と「リポジトリ」という用語は同じ意味で使われることがありますが、一般にリポジトリは、データの集まりが一元的に保存され管理される場所と定義されています。Silk Central の概念モデルは、Issue Manager および Silk Central のデータが格納されるデータ リポジトリの概念モデルです。

Silk Central データベースから切断する


新しい Silk Central データベースに接続するには、まず現在のデータベースから切断しなければなりません。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルト URL は、`http://<コンピュータ名>/login` です。
2. Silk Central に Silk Central システム管理者としてログインします。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。**データベース** ページが開きます。
3. **切断** をクリックし、現在のデータベースから切断します。


既存のデータベースへ接続する

現在、Silk Central データベースに接続している場合には、新しいデータベースを作成する前に、現在のデータベースから切断してください。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルト URL は、`http://<コンピュータ名>/login` です。
2. Silk Central に Silk Central システム管理者としてログインします。ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも `sysadmin` です。**データベース** ページが開きます。

 **注:** Silk Central データベースに接続したことがある場合には、**データベース** ページに、以前に接続されたデータベースの情報が表示されます。デフォルト値をそのまま利用して前のデータベースに再度接続したり、別の既存データベースの情報を入力して接続することができます。

3. データベースの情報を指定または確認し、**接続** をクリックします。

 **注:** Silk Central から古いデータベースに接続すると、Silk Central は自動的にアップグレードを行います。このアップグレードには、データベースのサイズによっては、数時間かかる場合があります。実行サーバーのバージョンが不適切な古いバージョンであっても、それが Silk Central Test Manager 2009 SP1 よりも後である場合、その実行サーバーは最新の Silk Central バージョンに自動的にアップグレードされます。実行サーバーのリストの **情報** 列に、更新に関するメッセージが Silk Central によって表示されます。アップグレード手順が完了しない限り、そのアップグレード中の実行サーバーは使用されません。

データベース接続が確立されると、Silk Central ログオン ページが開きます。

4. Silk Central へログオンします。
ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも admin です。

Silk Central 入門

このセクションでは、Silk Central での作業を開始する方法について説明します。

Silk Central 入門

Silk Central をインストールし、Silk Central データベースに接続すると、Silk Central で管理タスクを開始できます。

Issue Manager 入門

Issue Manager リポジトリにアクセスできるようになるには、Issue Manager に対してプロジェクトを初期化する必要があります。

1. Web ブラウザで、自分の Silk Central サイトを参照します。
デフォルト URL は、`http://<コンピュータ名>/login` です。
2. ログオンします。
ユーザー名とパスワードのデフォルト値は両方とも admin です。
3. メニューで **問題 > プロジェクト リスト** をクリックします。利用可能なプロジェクトの一覧が表示されます。
4. 問題を管理するプロジェクトの **アクション** 列で、**リポジトリ設定の初期化** アイコンをクリックします。
5. 画面上の指示に従います。
詳細については、この『ヘルプ』の「Issue Manager」トピックを参照してください。

Silk Central を管理する

Silk Central をインストールした後、Silk Central データベースに接続し、Issue Manager のプロジェクトを初期化したら、Silk Central で作業するために次のアクションを行います：

- システム設定の調整
- ユーザーとプロジェクトの作成
- 場所の設定
- 製品、コンポーネント、プラットフォーム、リリース、ビルドの作成
- テスト構造の作成
- Silk Central 要件の設定
- テストの作成
- テストの計画
- 管理されているテストの実行
- 問題の追跡と管理
- 結果のレポート

リストされたアクションの詳細については、この『ヘルプ』の「管理」トピック、または Silk Central ヘルプ、Silk Test Classic ヘルプ、および Silk Performer ヘルプを参照してください。

索引

D

DBMS 20

I

IIS 13

ISAPI Web サーバー 13

L

Linux 実行サーバー 18

M

MS SQL Server 20

MSDE 20

O

Oracle

空きディスク領域 21

一時表領域のサイズ 21

要件 20

R

RDBMS 20

S

Silk Central 23

SilkMeter

アンインストールする 8

インストールする 8

構成を変更する 10

接続のテスト 10

ライセンス サーバー上にインストールする 8

ライセンス サーバーを変更する 10

SQL 20

あ

空きディスク領域 21

新しいバージョン 18

アップグレード 18

アプリケーション サーバー 13

い

一時表領域のサイズ 21

インストール CD 6

インストールする

Linux 実行サーバー 18

Silk Central 13

概要 4

実行サーバー 17

スタンドアロン 11

手順の概要 11

標準 11

分散 13

か

概要

インストールする 4

さ

作業の開始

Issue Manager 23

Silk Central 23

概要 23

し

実行サーバー 13, 17

せ

設定する

データベース 20

リポジトリ 20

ち

チャート サーバー 13

て

データベース

作成する 22

接続する 22

切断する 22

設定する 20

タイプ 20

必要な情報 20

ユーザーの権限 21

ロール 21

データベースから切断する 22

データベースへ接続する 22

データベースを作成する 22

な

内容

インストール CD 6

インストール パッケージ 6

に

入門

Issue Manager 23
Silk Central 23

ひ

必要なアクション 23

ふ

フロントエンド サーバー 13
分散インストール 13

ほ

ホスト ID 8

ら

ライセンス

チェックアウトとチェックイン 7

ライセンス管理

概要 7

テスト接続 10

ライセンスサーバー

構成を変更する 10

要件 8

ライセンスタイプ 7

ライセンスポリシー 7

ライセンスポリシーの生成 7

り

リポジトリ 20